

## 第II章

# 被害状況編

## II. 被害状況編

### 1. 被害の概要

兵庫県南部地震は、人口 350万人が密集し、我が国の経済活動の中枢を担う阪神地域の直下で発生した地震であったため、その被害は戦後最大級のものとなり、「阪神・淡路大震災」と呼ばれるものとなった。

兵庫県下では、発生当日の正午神戸市を皮切りに被害の把握が可能となった市町から順次10市10町を災害救助法による指定が行われた（表-II.1.1）。市町委任事項であった災害救助法に基づく救助の実施については、「市町長に権限を委任する規則（災害救助法第30条）」を1月17日付けで一部改正し、今回の地震災害に限り、広域にわたるものについて県が行うこととした。

表-II.1.1 災害救助法指定市町

日 時	市 町 名
1月17日 12:00	神戸市
17:00	津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町
23:00	尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市
18日	川西市
19日	明石市、五色町
22日	三木市、洲本市、西淡町
31日	三原町
2月1日	緑 町、南淡町

この災害による兵庫県の人的被害は、平成8年9月末現在で、死者 6,281名にのぼり、負傷者は 34,900名に達した。また、建物被害では、倒壊家屋は192,706棟（全壊 92,877棟、半壊99,829棟）にのぼった。さらに、今回の地震では、神戸市長田区をはじめ、同時多発的に火災が発生し、初期の消火活動も断水や道路の断絶などにより混乱したため、広範囲の火災延焼となり、7,456棟（全焼7,119棟、半焼 337棟）の家屋が焼失した（表-II.1.2）。これに加え、電話、電気、ガス、水道、下水道等のライフラインの被害も膨大な数にのぼり、発生一週間後（ピーク時の1月23日）には 1,153箇所の避難所に316,678人の人が避難生活を強いられた。

一方、公共交通施設は、鉄道は28路線（延べ389km）、道路は48路線（62区間）、港湾施設では22箇所のコンテナ埠頭が被災により使用不能となり、発生直後からの救援・復旧活動に大きな混乱を及ぼした。

これらの被害総額は約9兆9,268億円と試算されているが、これは直接的なものであり、間接的な被害もあわせれば、「40兆円」（稲葉日本商工会議所会頭）とも言われている（表-II.1.3）。

表-Ⅱ.1.2 被災状況

(平成8年3月28日現在)

区分	死者	行方不明	負傷者	全壊		半壊		焼失棟数		
				棟数	世帯数	棟数	世帯数	全焼	半焼	
神戸市	4,485	1	14,679	54,949	115,302	31,783	113,110	7,046	333	
尼崎市	48	0	3,786	4,880	8,950	25,520	34,500	8	0	
西宮市	1,108	1	6,386	19,500	32,593	16,300	27,276	50	2	
芦屋市	433	0	2,759	4,661	7,412	3,943	9,296	11	1	
伊丹市	19	0	2,581	1,369	2,549	7,200	14,500	1	0	
宝塚市	116	0	1,100	1,339	5,074	3,718	13,632	2	0	
川西市	2	0	485	536	650	2,583	3,279	0	0	
三田市	0	0	15	0	0	0	0	0	0	
猪名川町	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
明石市	8	0	1,884	2,210	3,214	3,380	6,102	0	0	
加古川市	2	0	15	0	0	0	0	0	0	
三木市	1	0	17	26	26	96	96	0	0	
高砂市	0	0	4	0	0	1	1	0	0	
小野市	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
吉川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東条町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
稲美町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
播磨町	0	0	1	0	0	11	15	0	0	
姫路市	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
香住町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
日高町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
氷上町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
洲本市	4	0	44	17	17	655	655	0	0	
津名町	5	0	31	603	603	893	893	0	0	
淡路町	1	0	33	311	330	669	690	0	0	
北淡町	39	0	831	1,016	1,016	1,192	1,192	1	1	
一宮町	10	0	162	778	778	754	754	0	0	
五色町	0	0	17	186	186	268	268	0	0	
東浦町	0	0	30	316	322	451	459	0	0	
緑町	0	0	11	17	17	49	54	0	0	
西淡町	0	0	6	136	136	175	175	0	0	
三原町	0	0	4	18	18	119	119	0	0	
南淡町	0	0	4	9	9	69	69	0	0	
合計	6,281		34,900	92,877	179,202	99,829	227,135	7,119	337	
								(倒壊家屋 192,706) (倒壊世帯 406,337)		7,456

表-Ⅱ.1.3 兵庫県南部地震による直接的な被害総額

(平成7年4月5日発表)

項目	金額	概要 (単位：億円)
1.建築物	約5兆8,000億円	倒壊・使用不能建物等 〔※注：建築着工統計の建築単位から推計〕
2.鉄道	約3,439億円	JR西日本・阪急電鉄・阪神電鉄・神戸電鉄・山陽電鉄等
3.高速道路	約5,500億円	阪神高速道路・中国縦貫自動車道路・名神高速道路等
4.公共土木施設 (高速道路を除く)	約2,961億円	道路約1,181、河川約369、海岸約4、砂防約7、 下水道約698、街路約36、公園約140、国営直轄事業約526
5.港湾	約1兆0,000億円	神戸港、尼崎西宮芦屋港等公共施設約7,600 民間施設約2,400
6.埋立地	約64億円	佐野、志筑地区約7、南芦屋浜、芦屋浜地区約40 西宮、甲子園地区約17
7.文教施設	約3,352億円	県立学校約141、市町立学校約1,705、社会教育施設約 362、体育施設等約139、文化財約99、県立大学約3 私立学校約340、国公立大学約91、私立大学約379 文化施設(公立ホール等)約93
8.農林水産関係	約1,181億円	農地・ため池等約244、治山施設約82、漁港約199 農業生産施設等約105、水産業施設約48、林産施設約17 卸売市場約245、食品関係施設等約241
9.保健医療・ 福祉関係施設	約1,733億円	病院約666、診療所約274、試験研究期間約9 看護学校約19、火葬場約11、保健センター等約28 福祉関係施設約404、生活協同組合施設約322(医療除く)
10.廃棄物処理・ し尿処理施設	約44億円	
11.水道施設	約541億円	上水道約493、工業用水約48
12.ガス・電気	約4,200億円	ガス約1,900、電気約2,300
13.通信・放送施設	約1,202億円	電気通信施設約984(うちNTT約800)、放送施設約35 ケーブルテレビ約175、兵庫衛星通信約8
14.商工関係	約6,300億円	機械・装置等設備約6,300(建築物1兆7,700除く)
15.その他の 公共施設等	約751億円	県庁舎等約136、市町庁舎約515、警察庁舎等約100
計	約9兆9,268億円	